

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		安谷屋信一	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	蔬菜園芸学、園芸学概論の講義内容見直し、改善を図る。		0.20	蔬菜園芸学および園芸学概論の講義内容をほぼ全般にわたって見直し、改善を図った。		
研究	0.30	論文を投稿する。 Journal of Applied Horticultureおよび園芸学会雑誌(欧文)の編集委員として務める。また、園芸学会九州支部評議員として務める		0.30	論文原稿を準備中で、投稿に至っていない。Journal of Applied Horticultureおよび園芸学会雑誌(欧文)の編集委員として務めた。また、園芸学会九州支部評議員として務めた。園芸学会雑誌(欧文)編集委員および園芸学会九州支部評議員は今年度で任期を終えた。		
社会貢献	0.10	3倍性パパイヤの品種育成およびそれによる農業貢献の可能性を検討する。		0.10	3倍性パパイヤの品種育成について、優良系統の選抜段階で、さらに系統の優良性を確認し普及可能性を検討する必要がある。		
管理運営	0.20	各種委員、分野長として務める。		0.20	各種委員、分野長として務めた。		
進路指導	0.20	学生との懇談会や卒論指導を介し、学生の進路相談に応じる。		0.20	2年次指導教員として学生の生活指導等に務めた。また、学生の懇談会や卒論指導を介し、学生の進路相談に応じた。		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		嬉野 健次	所 属		農学部	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	・担当講義について、学生が理解しやすいように写真をもちいたりして資料の作成を工夫する。学生が本実験の意義を理解したかを判断するため毎回小テストを課す。			0.30	・担当講義(専門科目4科目(うち2科目は分担で各2コマと4コマ担当), 実験科目1科目, 共通教育科目(分担2コマ), その他(卒論, 修論, 演習)について, 計画通りの講義を行った。		
研究	0.30	・本年度, 科学研究費で採択されたテーマについて, 実験を実施する。また, その内容については, とりまとめ, 論文を投稿する			0.30	・科研費の研究内容について, 園芸学会で発表した。また, 前回の科研費で行った研究について, 園芸学会雑誌(英文誌)に論文投稿し, 採択された。		
社会貢献	0.10	・園芸学会のシンポジウム委員を担当する。新聞社などからの植物に関する問い合わせに対応する。			0.10	・園芸学会シンポジウム委員として, 来年度秋開催予定のシンポジウムの企画を行った。		
管理運営	0.20	・農学部各種委員会のうち, 担当した委員の任務を遂行する。			0.20	・予算委員会, 将来計画委員会など担当した委員の任務を遂行した。そのほか, センター試験監督補助を行った。		
進路指導	0.10	・研究室の学生の進路の相談にのる。			0.10	・研究室の学生に就職情報を随時提供した。また, 推薦書の作成を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		川本 康博	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	前期:学部担当科目(循環畜産学[3コマ], 家畜環境管理学[7コマ], 熱帯飼料 草地学実験, 卒業論文I・II), 後期:熱帯草地学, 草地生産管理学, 人口と食 糧[2コマ])を担当すると共に, 研究科担当科目(熱帯草地学特論, 特別研究 I・II, 亜熱帯農学特別演習), 連合大学院科目(動物資源生産科学特別講義 [2コマ])についてシラバスに沿って講義・実験・演習を行う。		0.20	当初の年度目標に従って, 各担当科目を実施した。 但し, 『動物資源生産科学特別講義』については, 受講者がいなかったため 実施しなかった。
研究	0.25	大学院修士課程, 並びに博士課程の学生と共にそれぞれの研究内容に沿 った2~3の研究論文の採択を目指す。外部資金(2事業)を獲得し, 関連組織 との共同研究を継続・開発し, 農学研究, 農業振興につながる技術の研究開 発に努める。		0.25	指導学生と共に, 4編の原著論文を掲載した。また, 2事業(共同研究)を採 択し, 研究開発を推進した。
社会 貢献	0.10	沖縄県, 県畜産振興公社, 沖縄総合事務局から依頼される推進会議並びに 調査等の兼業を行うと共に, 県内農家・農業団体一般・高校生等に対し, これ までの研究成果等の普及を推進し, 産学連携事業を進めることによって社会 貢献を行う。また, 国際協力機構の研修コース講師(3つの研修プログラム) と, 鹿児島大学の非常勤講師を務める。		0.10	沖縄県から依頼された, 数件の推進会議など(兼業)に出席した。農林水産 省からの委託委員会に出席した。琉球大学地域貢献プロジェクト「長寿社会 を支える人材育成プログラム」を実施した。また, 国際協力機構の研修コー ス講師(3つの研修プログラム)と, 鹿児島大学の非常勤講師を務めた。
管理 運営	0.40	農学部長としての職責上の業務を遂行する。併せて, 全学, 学部の 関連委員を務める。		0.40	農学部長, 教育研究評議員としての職責上の業務を遂行した。併せて, 全 学, 学部の関連委員を務める。
進路 指導	0.05	インターンシップ(現業実習)を海外の大学等とも連携して行うようなプ ログラムを作成し, 手続きを調整する。学部, 農学研究科(琉球大学, 鹿児島大学連合研究科)の卒業・修了生の就職率向上に努める。		0.05	インターンシップ(現業実習)を海外の大学等とも連携して行うようなプロ グラムを作成し, 手続きを調整し, 学部生3名の海外インターンシップを遂行し た。学部, 農学研究科(琉球大学, 鹿児島大学連合研究科)の卒業・修了生 の就職率向上に努めた。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してく ださい。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊村 嘉美	所 属		農学部亜熱帯地域農学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	各科目の内容の改訂を続ける。今年度は、特に、家畜飼料学の内容充実を図る。		0.30	講義配布資料と講義用パワーポイントの充実を行った。			
研究	0.20	主著者として学会での報告と学会誌への投稿を1報以上実施する。		0.20	原稿作成まで行ったが、投稿には至らなかった。			
社会貢献	0.15	地域の畜産関係者からの技術相談に対応する。(1.パイン粕の飼料化。2.泡盛粕の飼料化に関する件)日本暖地畜産学会の編集委員および県幹事として貢献する。		0.15	目標とした活動が行えた。			
管理運営	0.20	各種委員として、管理運営活動に積極的に参画する。特に、全学URGCC委員会と全学学生生活委員会として、学科の教育体制、学生対応の充実につ努める。		0.20	委員会にほぼ全て出席し、委員としての業務を実施した。			
進路指導	0.15	研究室配属の4年生と指導教員を担当する4年生について、早期進路希望を聴取し、就職あるいは進学に向けた取組みを促す。		0.15	今年度の研究室配属4年生(2名)について、全員希望通り就職が内定した。			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	平川守彦		所 属	農学部亜熱帯地域農学科	
職 名	准教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	学部担当科目(循環畜産学、家畜行動管理学、家畜福祉論、動植物人間関係学、外国文献購読)を担当し、他学科、他講座の学生にもわかりやすい講義を行う。大学院では、家畜管理学特論を担当し、活発な討議のできる講義にする。	0.30	前期科目である循環畜産学、家畜飼育学、外国文献行動、生物学概論を担当、後期科目である家畜行動学、動植物人間関係学を担当し、他学部、他学科の学生も受講し、わかりやすく講義を行った。授業評価は良好であった。	
研究	0.20	・3、4年次学生および琉大馬術部の部員と一緒に協力しながら、与那国馬のホースセラピーとヤギセラピーによる癒し効果に関する基礎研究をおこなう。 ・家畜の福祉を考慮したヤギの放牧に関する研究をおこなう。	0.20	・小学生にセラピーヤギによる癒やし効果の実験を行い、その結果、著しいストレス軽減効果がみられた。また、家畜の福祉の観点からヤギの休息行動に及ぼす床面の高さの影響を調べた結果、60cmの床面が休息行動が多くみられた。	
社会貢献	0.15	・キャンパスツアーで模擬講義を行う。 ・うない研究支援センターによる大学職員のための「夏休み学童保育」を行う ・外部からの要請や相談があれば積極的に関わりたい。	0.20	10月3日に茨城県立牛久栄信高校の学生(40名)に模擬講義を行った。また、12月12日に埼玉県立蕨(わらび)高校の学生(59名)に模擬講義を行った。11月4日沖縄総合事務局消費・安全対策交付金に係わる事業の第三者評価委員として評価を行った。	
管理運営	0.20	学部においては、代議員、入試委員、進路指導委員、また、全学においてはハラスメント指針見直し委員会、ハラスメント相談窓口担当者として積極的に活動を行う。	0.15	学部においては、代議員、入試委員、進路指導委員、また、全学においてはハラスメント支援センターに係わる規程作りを行った。	
進路指導	0.15	4年次学生に就職指導を行う。	0.15	4年次学生に就職指導を行った。	
	0.00		0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		内藤 重之		所 属		農学部		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.43	学部担当科目については資料を配布するとともに、ビデオ視聴や現地視察等を取り入れて理解しやすい講義を行う。授業終了時に学生から質問と感想を提出してもらい授業の改善に努める。大学院担当科目については意見交換を行い受講生の問題関心に沿った授業を行う。また、都市農村交流や食料・農産物流通等に関する研究成果を授業に反映させる。				0.43	学部担当科目、大学院担当科目ともに目標を達成できたが、学生の感想や授業評価アンケート結果等を参考にしながら、今後さらに授業を充実させていきたい。				
研究	0.40	科研費の研究代表課題および研究分担課題の調査研究を遂行するとともに、研究成果を学会において報告し、学会誌へ論文を投稿する。また、共著書を執筆し、年度内の公刊を目指す。さらに、日本農業市場学会および食農資源経済学会の理事、沖縄農業経済学会の理事兼事務局、農業理論研究会の事務局としての役割をそれぞれ果たす。				0.40	科研費の調査研究をほぼ計画どおり遂行できた。その研究成果を日本農業市場学会において共同発表として3課題発表するとともに、学会誌『農業市場研究』に投稿した。また、共著書『新たな食農連携と持続的資源利用』の分担執筆を行った。さらに、各学会や研究会の役員等としての役割を果たすなど、目標を達成できた。				
社会貢献	0.07	沖縄県中央卸売市場取引委員会の会長ほか沖縄県の委員(4)および沖縄県農業会議の沖縄県経営構造対策推進協議会委員、内閣府沖縄総合事務局の委員(3)、うるま市農水産業振興戦略拠点施設事業協議会の委員長として、それぞれ役割を果たす。また、農業・農村振興に貢献できるように、要請があれば積極的に研究会等に参画して講演したり、相談に応じたりする。				0.10	左記の委員に加えて、新たに沖縄県の4つの委員会の委員を務めるなど、目標以上に各委員会や協議会等の委員としての役割を果たすことができたと考えている。				
管理運営	0.08	全学的な委員会である琉球大学情報公開委員会、琉球大学国際沖縄研究所運営委員会、琉球大学大学教育改善等委員会の委員として、また農学部のFD委員会の委員長、教育委員会、亜熱帯フィールド科学教育研究センター運営委員会の委員、連合農学研究科代議委員、教務委員等として、それぞれ責務を果たす。				0.06	授業の関係で出席できなかった委員会もあったが、目標どおり責務を果たせたと考えている。				
進路指導	0.02	研究室の学生や担当科目の受講生等に対して進路(進学・就職)についてのアドバイスを積極的に行う。				0.01	研究室の学生や担当科目の受講生に対して進路についてのアドバイスを積極的に行った。また、指導教員をしている3年次の学生に対しても進路相談を行うなど目標を達成したと考えている。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		木島 真志	所 属		亜熱帯地域農学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.40	セミナー開催や授業を活用し、大局的な視野に基づく判断能力・思考能力を養うための環境を整備する。最新の研究事例などの紹介を通して森林資源管理経営の重要性・面白さを伝える。留学希望者の支援及び、留学生の支援を積極的に行う。さらに、発展途上国における教育支援として、モデリングのワークショップで講義する。		0.35	学内の授業に加えて、発展途上国における教育支援(カンボジア:8月、ネパール:9月)も積極的に行った。これら発展途上国で開催したワークショップで得た経験を、学内の授業に反映させることで学部担当科目、大学院担当科目の内容がより充実したものになった。
研究	0.40	科研費の研究代表1課題, 研究分担1課題の調査研究および, 国内外における他大学・他研究機関と進行中の共同研究(韓国, トルコ, 統計数理研究所)を遂行し, その成果を国内外での学会発表にて積極的に行い, 学会誌へ投稿する。		0.35	自分が代表の科研費(基盤C:25450217)と分担の科研費(基盤A海外:22252002)および学外の共同研究をほぼ計画どおり遂行できた。また研究成果の一部を国際誌(1本)および和文誌(1本)に発表した。
社会貢献	0.08	学外の審議会等へ参加し, 積極的に情報交換を行う。 国内外の学会・研究会の運営・参加を積極的に行う。		0.10	目標どおり学外の会議に委員として参加し, 積極的に議論を行った。国内の学会・研究会のおよび国際学会の運営を積極的に行い, 委員としての役割を果たすことができたと考えている。
管理運営	0.08	広報委員として, 学外に琉大農学部の魅力をアピールする。 その他委員としての責務を果たす。		0.10	目標どおり責務を果たせたと考えている。
進路指導	0.04	進学・就職などの進路についてアドバイスを積極的に行う。		0.10	研究室の学生を中心に進路についてのアドバイスを積極的に行った(1名:就職, 1名:大学院進学)。ただし, 今年度はまだ研究室所属の4年次1名の進路が決まっていないので, 引き続き指導を行っていきたい。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		杉村 泰彦	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科 農林経済科学分野	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.45	①学部については、すべて新規担当科目であるため、本年度についてはURGCCで掲げられた目標を達成しうる授業内容を構築する。②大学院については、本人の素養と問題意識を表現しうる論文の作成を目標として指導したい。			0.55	①講義科目については、新規担当科目であったため、授業内容に一層の改善が必要である。②大学院生については論文投稿など一定の成果は得られたので、次年度は修士論文、博士論文の作成にむけて引き続き鋭意指導したい。③しかし、業務ウェイトは見込みよりもかなり高くなった。		
研究	0.30	宇流麻学術研究助成基金「研究助成金」に申請した「沖縄県における流通系食品廃棄物発生の実状と再資源化の課題に関する研究」について、助成の可否にかかわらず取り組み、沖縄農業研究の基盤を構築できるよう務めたい。			0.15	左記の研究助成金は採択され研究に取り組んでいるが、沖縄農業研究の基盤づくりにはより一層の努力が必要である。		
社会 貢献	0.15	①対県内については、持ち込まれた案件について、できる限りの知見を提供するように務めたい。②加えて、前年度に引き続き、中央畜産会「経種馬経営高度化研修委員」を務める予定となっている。			0.20	①県内については、沖縄県農業基礎調査事業を研究室で受託し、事業1年目の成果として報告書を作成した。②については2回にわたる馬産地調査を実施し、委託内容に即した報告を行った。		
管理 運営	0.05	学部運営あるいは大学運営に係わる業務について、前任校での経験も活かしつつ、積極的に携わりたい。			0.05	入試監督業務程度であったが、割り当てられた委員会等については概ね役割は果たせた。		
進路 指導	0.05	学部学生に対しては、会社員時代の経験および前任校での就職指導経験も踏まえつつ、積極的な職業選択の重要性を伝えたい。大学院生に対しては、研究職の魅力とともに、大学院で得た知見を企業で活用することの意義についても理解させるよう務めたい。			0.05	設定した目標に従って指導に取り組んだが、学部生1名が就職未決のまま卒業する見込みとなった。本年の成果より、積極的な職業選択の重要性について、より一層の指導が必要だと感じている。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		芝 正己		所 属		農学部 亜熱帯地域農学科		職 名		教授	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	<p>・教育活動の主体は、フィールド科学教育研究センターの実習教育メニューである「基礎フィールド実習:分担」、「フィールド実習Ⅲ:分担」、「亜熱帯林体験実習:分担」、学科(亜熱帯地域農学)構成コースの農林共生学分野の提供科目である「国際森林・林業論:単独」、「森林人間文化論:単独」、「森林情報計測学:分担」、「外書文献講読:分担」、その他、学科共通提供科目の「動植物人間関係学:分担」、学部共通科目の「食・農・環境概論」等に基づく。実習・講義内容の向上を目標に、教材や文献資料の作成の充実を図る。学生の授業評価結果を精査して講義方法や内容の課題点の改善に努力する。</p>				0.20	<p>・フィールドセンター担当の各実習に関しては、実施方法、実習内容、評価法など、いずれもシラバスに沿った形で行えた。座学の講義に関しては、配布資料の内容、ビデオを使った視聴覚講義などに工夫した結果、学生の授業評価もほぼ満足できるものであった。なお、実習の準備や資料の作成等についての分担教員や補助技術職員との事前・事後の打合せ等、特に問題となる点は見られなかった。年次指導教員としての学生指導・助言等については十分に対応できたと考え、学生指導は重要な業務部分であり時間外でも対応できるように今後も工夫に努めたい。研究室所属の修士・学部学生、研究生、及び連合大学院博士課程学生(2名)については、文献調査、学会発表、論文投稿等の指導を行った。教育面については概ね計画通りに遂行できたと評価される。</p>				
研究	0.20	<p>・主要な学会・研究集会の対象は、国内が日本森林学会(全国大会・支部大会)、森林利用学会、森林計画学会、亜熱帯森林・林業研究会、海外がCOFE(米国林業工学協議会)、IUFRO(国際森林研究機関連合)等である。国内学会等については出来るだけ参加発表を行い、特に重要な論文については学会誌への投稿を準備する。大学院修士課程、並びに博士課程の学生と共にそれぞれの研究内容に沿った2~3の研究論文の採択を目指す。</p>				0.15	<p>・主要な国内学会である日本森林学会及び九州森林学会の年次大会、また、県内の研究会(亜熱帯森林・林業研究会)で口頭発表を行った。所属学生に対する研究指導として前述学会での口頭発表を指導した。なお、関連する主要国際会議(IUFRO世界大会:米国ソルトレーク市開催)に3名の院生と共に参加し、ポスターセッションでの発表を行った。海外学会活動については、IJFE(米国)の編集委員及びCOFE(米国)海外委員を引き続き担当している。また、マレーシアUPM大学から博士論文外部評価委員の指名を受け審査に当たった。外部資金の獲得については、応募したがいずれも不採択に終わった。以上、学生の研究指導部分はほぼ良好な結果であったが、外部資金等の獲得実績は満足できる結果ではなかった。</p>				
社会貢献	0.15	<p>・学外の審議会、委員会のメンバーとして、国関係では「林野庁九州森林管理局西表島森林生態系保護地域設置委員会委員長」、「世界自然遺産候補地科学委員会」、沖縄県関係では、「沖縄県都市緑化実行委員会審査委員」、大学関係として、「全国演習林協議会理事・監事」、「全国農場協議会委員」、「全国共同利用委員会委員:北海道大学」、「全国共同利用委員会委員:宮崎大学」、その他「NPO法人森林管理協議会Forsta理事:東京」、海外では「FSC 国際委員(北半球・社会部門)」、「IJFE(国際林業工学学会誌)国際編集員」等で活動しており、今後も引き続き積極的に関与していく。学外の小中高生や一般の社会人を対象としたフィールド科学教育研究センター主催・協賛のイベント等(公開講座、オープンキャンパス、ワークショップ)への積極的な参加。その他の主要な学外での社会連携活動として、わが国での「FSC森林認証制度」の普及に1999年から関わって来ており、国内認証機関の審査委員、ピアレビュー委員として引き続き助言する。</p>				0.20	<p>・学内外の審議会・委員会等については、国(環境省・林野庁)や沖縄県の継続・新規役員として4つ以上を担当し、いくつかの委員会の委員長として活動した。また、北海道大学、宮崎大学主催の共同利用拠点委員会の委員としてその運営に参画した。国内外のNPO法人(FSC International:ドイツ・ボン、FSC Japan:東京)の委員、民間認証企業(SGS Japan)の評価員等もその任を継続中である。農学部やフィールドセンター参画の各イベントにも主催メンバーとして参加した。その他、民間団体依頼の講演等のボランティア活動も行った。以上、社会貢献領域については、ほぼ予定した通りの成果が上げられた。</p>				
管理運営	0.30	<p>・センターにおける諸管理運営業務(センター長、全国演習林協議会理事・監事)について積極的に関与する。全学、学部の各種委員会メンバーとしての役割を積極的に果たす。</p>				0.30	<p>・フィールドセンター長として、全国農場協議会及び全国演習林協議会に参加し、大学間の交流に積極的に関わった。特に全国演習林協議会では、監事及び表彰委員会委員に指名された。学内の全学、学部の各種委員会メンバーとして積極的に活動した。フィールドセンター(千原フィールド/与那フィールド)の管理運営に関しては、ほぼ満足できるものであったと評価できる。</p>				
進路指導	0.15	<p>・年次指導教員のメンバーとして、学生の進路指導や就職希望の学生への県内外の就職環境の情報提供や活動への助言を行う。特に、関係の官公庁や民間企業からの特別講師による説明会等の機会設定に努力する。博士後期課程(鹿児島連合大学院)在学中の留学生への積極的な教育指導を行う。</p>				0.15	<p>・亜熱帯地域農学科農林共生科学研究分野の学生に対する就学や進学、就職活動・キャリア実習等をはじめとする一連の進路指導を分野長として学務担当窓口と協力して行った。また、4年次指導教員メンバーとして卒業認定条件や就職・進学等の進路相談等に積極的に関わった。研究室分属学生に対してはゼミを通して定期的に進路指導を行った。以上、進路指導に関する一連の活動はほぼ満足できる結果であった。</p>				
	0.00					0.00					
計	1.00	<p>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>				1.00	<p>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		玉城 政信	所 属	農学部附属フィールド科学センター	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	学部担当科目(畜産共生技術論、フィールド実習Ⅱ、基礎フィールド実習1～5組および卒業論文など)を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義を実施する。特に実習では農業の基礎を理解できるように務める。		0.30	学部担当科目(畜産共生技術論、フィールド実習Ⅱ、基礎フィールド実習1～5組および卒業論文など)を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義をした。特に実習では農業の基礎を理解できるように務めた。	
研究	0.15	沖縄の地域特性を踏まえた実社会で利用可能な研究開発および調査に努め、その成果を学会誌へ投稿する。		0.15	沖縄の地域特性を踏まえた実社会で利用可能な研究開発および調査に努め、その成果を共同研究者として掲載された。	
社会貢献	0.10	1)沖縄畜産研究会の活動、研究会の開催に取り組む。 2)全国農林高校プロジェクト発表の審査として運営に貢献する。 3)地元、沖縄県の産業振興に貢献する。		0.10	1)沖縄畜産研究会の活動、研究会の開催に取り組んだ。 2)全国農林高校プロジェクト発表の審査として運営に貢献した。 3)地元、沖縄県の産業振興に貢献できたかどうかは不透明である。	
管理運営	0.40	1)亜熱帯地域農学科の運営を効率的に実施する。 2)フィールド科学センターの運営、特に畜産関係を効率的に実施する。 3)各種委員会の活動を積極的に行う。		0.40	1)亜熱帯地域農学科の運営を効率的に実施した。 2)フィールド科学センターの運営、特に畜産関係を効率的に実施した。 3)各種委員会の活動を積極的に行った。	
進路指導	0.05	1)年次指導教員(4年次)として進路指導等に取り組む。 2)就職支援のために県内畜産関係企業等への見学を積極的に行う。 なお、進路指導についても対応する。		0.05	1)年次指導教員(4年次)として進路指導等に取り組んだ。 2)就職支援のために県内畜産関係企業等への見学を積極的に行い、進路指導についても対応した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		モハメド アムザド ホサイン	所 属		亜熱帯フィールド科学教育研究センター	
			職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	1. 学部担当科目(基礎フィールド実習1~5組、外国文献講読および卒業論文)と大学院担当科目(亜熱帯農学特別演習 I、亜熱帯農学特別研究 I、亜熱帯農学特別研究 III、栽培実践学特論及び熱帯生物資源生産学)及び博士課程の研究指導を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義を実施する。特に実習では農業の基礎を理解できるように務める。 2. 授業評価などの指摘、自らのアイデアに基づく授業の改善を行う。 3. 留学生への受け入れ及び指導を行う。		0.30	1. 学部担当科目(基礎フィールド実習1~5組、外国文献講読および卒業論文)と大学院担当科目(亜熱帯農学特別演習 I、亜熱帯農学特別研究 I、亜熱帯農学特別研究 III、栽培実践学特論、作物栽培環境学及び熱帯生物資源生産学)及び博士課程の研究指導を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義・指導を実施した。特に実習では農業の基礎を理解できるよう指導した。 2. 授業評価などへの指摘、自らのアイデア、新しい情報に基づく授業の改善を行った。 3. 3名の国費留学生を研究生として受け入れ、2014年9月末より指導を継続的に行っている。	
研究	0.25	1. 卒業論文、修士課程及び博士課程の学生の研究を行い、その成果として国内外の学会において発表を行い、また学会誌への投稿も行う。 2. 外部資金に関連したウコン栽培に関する研究を実施する。 3. ウコンの有機栽培に関する研究を行う。またその成果を周辺地域に提供する。 4. 上記研究の成果を学会で発表する。		0.25	1. 3名の4年生の研究・卒業論文、1名の修士学生の研究・修士論文および1名の博士学生の研究、論文作成指導を日々行った。その成果として国内外の学会における発表を行い、また学会誌への投稿を行った。 2. 外部資金3件、計約200万円の資金をもとに、関連したウコン栽培に関する共同研究を実施した。 3. ウコンの有機栽培に関する研究を行った。またその成果を周辺地域に情報提供した。 4. 上記研究の成果を学会で発表した。	
社会貢献	0.20	1. 国内及び国際学会で編集員として活動する。 2. 地域の植物に関する教育に貢献する。 3. 国内外からの訪問者及び研究者に熱帯・亜熱帯地域の作物に関する情報を提供する。 4. 地域の農家及び企業の発展の為、技術指導を行う。		0.20	1. 国内及び国際学会で編集員としての活動を行った。 2. 地域の農業や植物に関する教育の一環として、JAおきなわの組合員を対象に、ウコン栽培に関する実地指導、講義を行った。 3. 国際農学プログラム参加者(タイ、インドネシアおよびバングラデシュ)への熱帯作物栽培に関するレクチャー、指導および情報提供を行った。 4. 沖縄本島内、その他宮古島や石垣島のウコン栽培農家、組合に対し、月1回の割合で実地・技術指導を行った。また地元企業の発展の為、商品開発に係る指導・助言を行った。	
管理運営	0.15	1. 学内の委員会(4)へ積極的に参加する。 2. 所属部局及び所属学科の管理運営に貢献する。 3. フィールドセンターの圃場グループ全体の管理・運営を行う。 4. 修士及び博士課程の入試に関連する業務を行う。		0.15	1. 学内の委員会(2件)へ積極的に参加した。 2. 所属部局及び所属学科の管理運営に貢献した。 3. フィールドセンターの圃場グループ全体の管理・運営を行った。 4. 修士及び博士課程の入試に関連する業務を行った。	
進路指導	0.10	1. 学生の教育、研究と就職に関する助言、指導を行う。 2. 学生の生活における相談に乗る。		0.10	1. 研究室所属および所属希望の学生の教育、研究と就職に関する助言、指導を行った。 2. 学生の生活における相談に乗った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高嶋 敦史	所 属		農学部 フィールドセンター	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	担当する講義や実習科目の質を向上させる。また、卒論・修論の指導では、研究の組み立てからデータの取得、解析、とりまとめに至る指導を適切に行う。			0.25	「森林情報計測学」では、森林科学にまつわる最新の情報を講義内容に反映させるよう取り組んだ。「基礎フィールド実習」は、日程を短縮したために学生の満足度が低下したことが課題として残った。「亜熱帯林体験実習」は、まずまず良質のプログラムが提供できた。卒論・修論指導では、最低限の指導はできたものの、フィールドワークなどをもう少しじっくり指導できると良かった。		
研究	0.30	やんばる地域の二次林や、屋久島のヤクスギ林について取得した既存のデータを取りまとめ、学会発表や論文を進める。また、やんばる地域では天然林のモニタリングや人工林の構造分析を進め、適切な森林管理の方向性を探る。			0.25	やんばる地域の亜熱帯林に関する研究では、二次林の構造や特徴についてとりまとめた論文を森林計画学会誌に投稿して受理された。老齢林の動態や人工林の現状に関するデータ収集も継続して実施できている。屋久島のヤクスギ林に関する研究では、リジェクトされた論文の再投稿に至らなかった。その他では、中期計画達成プロジェクト研究で八重山のウタキ林の植生に関する現地調査に取り組んだ。		
社会貢献	0.15	公開講座の実施や研修の受け入れ等を通じ、やんばるの森に関する情報を発信する。また、やんばる地域の国立公園／世界遺産登録に向けた動きなど、地域の課題にも積極的に取り組む。			0.10	里山研究園を利用した公開講座「やんばるの森の恵み」では、参加者に植林活動や森林調査を体験していただいた。また、演習林では「オープンフォレスト2014」を実施し、参加者に森林を見学していただいた。その他では、国頭村の「国立公園及び世界自然遺産に係る検討委員会」の委員として、村の意思決定支援に取り組んでいる。		
管理運営	0.15	与那フィールドにおける研究・教育利用の推進に努める。その際、フィールドが安全かつ円滑に利用されるよう、環境の整備に取り組む。また、職員が仕事に取り組みやすい職場づくりにも取り組む。			0.35	与那フィールドでは、研究・教育目的での利用希望者に対する窓口となり、適切な受け入れに取り組んだ。また、職員の就業意欲向上にも取り組んだ。その他、演習林創設60周年記念式典の開催と記念誌の発行にもあたった。全国大学演習林の繋がりでは、北海道大学を中心とした教育関係共同利用拠点に関する連携を深めたほか、大学演習林120周年記念WG委員も務めた。		
進路指導	0.10	研究室に配属された学生や講義・実習等で関わる学生に対し、就職情報を提示しながら就職活動の進め方について随時アドバイスする。			0.05	講義や実習の受講生にむけて、森林科学に関連する業種の紹介を行った。研究室に配属された学生については、それぞれの希望に応じて就職先の紹介などを行い、4年次生1名を希望する就職先の採用試験に合格させることができた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			